

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	G-SOX
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	治療切除不能な進行・再発の胃癌
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ga-34
登録日・更新日	2015年8月25日
削除日	
出典	Yamada Y .et al Ann Oncol 26, 141-8.2015
入力者	高松 宏行

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	エルプラット	50,100,200mg	100mg/m ²	IV DIV IVHポート 側管 その他()	2時間	Day1
	ブドウ糖液5%	250mL				
No.2	ティーエスワン	20,25mg	*1	IV DIV IVHポート 側管 その他(終口)	分2(朝・夕)	Day1(夕)~15(朝)
	なし					

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	短縮可能(日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【延期基準】 ANC < 1,500/mm³ Plt < 7.5万/mm³ AST > 83IU/L (肝転移がある場合: 165IU/L) ALT > 105IU/L (肝転移がある場合: 210IU/L) SCr > 1.5mg/dL 下痢、口内炎、手足症候群 Grade 2(CTCAEv4.0)</p> <p>【用量レベル】 開始投与量 レベル-1 レベル-2 L-OHP 100mg/m² 75mg/m² 50mg/m² TS-1 80mg/day 50mg/day * 2 40mg/day * 2 TS-1 100mg/day 80mg/day 50mg/day * 2 TS-1 120mg/day 100mg/day 80mg/day * 2胃癌SOX試験における減量投与量であり、S-1の用法・用量外</p> <p>【L-OHP/S-1減量基準】 項目 内容 次回投与量 血小板減少 Day 29までに75,000 /mm³以上 L-OHPのみ1段階減量。ただし、L-OHPの投与量が満たさなかった場合 50mg/m²の場合はS-1を1段階減量する 25,000 /mm³未満 L-OHP/S-1ともに1段階減量 血小球減少 500 /mm³未満 L-OHP/S-1ともに1段階減量 好中球減少 好中球数 < 1,000 /mm³かつ L-OHP/S-1ともに1段階減量 発熱性好中球減少 発熱(腋窩温) 38.0 L-OHP/S-1ともに1段階減量 Grade 3 L-OHP/S-1ともに1段階減量 下痢、口内炎、手足症候群 本剤の投与によると疑われる アレルギー反応/過敏症 Grade 3 L-OHPのみ中止</p> <p>【末梢神経症状によるL-OHP減量基準】 Grade 1 減量不要 Grade 2 1段階減量 (減量は50mg/m²までとし、それ以降は減量せずに投与継続) Grade 3 スキップ (Grade 2以下に回復後、次サイクルよりL-OHPを再開) Grade 4 中止</p>
	前投薬

その他の注意事項	<p>*1ティーエスワン投与量 体表面積(m²) 投与量(mg/日) 1.25未満 80 1.25~1.5未満 100 1.5以上 120</p> <p>血管痛がある場合はCVポートを推奨</p>
----------	---

記入者	高松 宏行
確認者	大山 優